

別表 海外で注意しなければいけない感染症

主な感染源	注意すべき病気	主な発生地域	滞在地域				予防方法		
			リゾート観光地	都市部	地方の町や村	森林・原野	その他	予防接種	
食べ物水	★ E型肝炎	世界各地	●	●	●	●	十分火の通った食べ物を食べる 生肉は食べない		
	★ A型肝炎	発展途上地域	●	●	●		十分火の通った食べ物を食べる 生水は飲まないようにする	●	
	★ 赤痢	発展途上地域	●	●	●				
	★ 腸チフス	発展途上地域	●	●	●				
	★ コレラ	発展途上地域	●	●	●				
	★ ノロウイルス	世界各地	●	●	●			十分火の通った食べ物を食べる 二次感染に注意する	
	★ 消化管寄生虫症	世界各地		○	●		こまめな手洗い 十分火の通った食べ物を食べる		
事故・ケガ	★ 破傷風	世界各地	○	○	○	○	転倒やケガに注意する	●	
蚊	★ マラリア	熱帯・亜熱帯地域（アジア、アフリカ、中南米）	○	○	● 夜間	● 夜間	夜間外出を控える 蚊帳の使用虫除けローションの使用 長袖・長ズボンの着用	予防薬（飲み薬）	● 高熱・周期的
	★ デング熱	熱帯・亜熱帯地域（アジア、オセアニア、アフリカ、中南米）	● 昼間	● 昼間	○ 昼間		虫除けローションの使用 室内での蚊取り線香の使用など		● 高熱
	■ 日本脳炎	アジア		●	●		虫除けローションの使用 予防接種を実施する	●	● 高熱
	■ 黄熱	アフリカ 南アメリカ			● 昼間	● 昼間		発生地域では必須	● 高熱
	■ ウエストナイル熱	北アメリカ アフリカ 中東アジア	●	●	●	●	虫除けローションの使用 長袖・長ズボンの着用		●
	■ チクングニア熱	東南アジア 南アジア アフリカ	● 昼間	● 昼間	● 昼間	●			● 高熱
動物	■ 狂犬病	世界各地	◆	◆	◆	◆	むやみに動物に触らない 予め狂犬病ワクチン接種を受ける 犬等からの咬傷後、ワクチン等による治療	●	●
	■ 鳥インフルエンザ	東南アジア			●		農家、市場、動物園などの鳥類との接触を避ける。手洗い、うがい		●
人	★ 麻しん	世界各地 (特にアジア・アフリカ)	●	●	●	●		●	● 高熱
	■ ポリオ	南アジア・アフリカ等		○	○		手洗いの実施	●	●
沼や湖河川	■ レプトスピラ症	世界各地			●		淡水（川や湖）での水浴びを控える		●
	■ 住血吸虫症	アジア、アフリカ、南アメリカ(ナイル川・揚子江など)			○				

★：最も注意をしなければいけない病気

■：渡航先、活動内容によって注意しなければいけない病気

●：感染する機会が多いので十分に注意

○：感染する機会は少ないが注意が必要

◆：動物と接触する機会が多い場合には十分に注意

●：ワクチンにより予防できる
※予防接種は、渡航期間、地域、活動内容により、医師と相談の上考慮する。

主な症状		
発熱	下痢	その他
●		倦怠感、黄疸（体の皮膚や白目が黄色になる）
●		倦怠感、黄疸（体の皮膚や白目が黄色になる）
●	● ときに血便	激しい腹痛
● 持続する高熱	●	倦怠感、比較的徐脈 （高熱なのに比較的脈が遅い）
	● 大量の水様	嘔吐 下痢による脱水
●	●	激しい嘔吐、下痢
●	○	
		飲み込みにくい、しゃべりにくい、全身けいれん
● 高熱・周期的	○	悪寒、冷汗 頭痛、筋肉痛 意識障害
● 高熱		目の奥の痛み 筋肉・関節痛、発疹
● 高熱		昏睡（痛みや刺激に反応しない） 意識障害、頭痛
● 高熱		頭痛、筋肉痛 悪寒、嘔吐
●		頭痛、筋肉痛、倦怠感
● 高熱		頭痛、筋肉痛 倦怠感、発疹 関節痛、関節のはれ
●		治癒した受傷部の痛み 知覚過敏 恐水・恐風症状
●	○	呼吸器症状
● 高熱	○ 乳幼児では多い	咳、鼻水、結膜充血、発疹
●	○	麻痺
●		悪寒、頭痛、筋痛 腹痛、結膜充血
		発熱、下痢、肝臓、脾臓の腫れ

●：よくみられる症状

○：ときにみられる症状